HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	第6回国際協力カフェ@北大図書館 ： トークライブ！「見た！住んだ！変わりゆくアフリカの今」
Author(s)	古澤, 輝由; 芹沢, 領; JICA; 友成, 晋也
Citation	第6回国際協力カフェ@北大図書館：トークライブ！「見た！住んだ！変わりゆくアフリカの今」. 2016年11月18日(金). 主催:北海道大学附属図書館（国連寄託図書館）、国際協力機構北海道国際センター (JICA 北海道), 協力:北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP)
Issue Date	2016-11-18
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/63942
Type	lecture
Note	第三部「変わりゆくアフリカ」のデータ転用の際はJICAアフリカ部までご連絡をお願いします。
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	Part2.pdf (第２部「素人が見た生のアフリカ」話し手：芹沢領氏)

Instructions for use

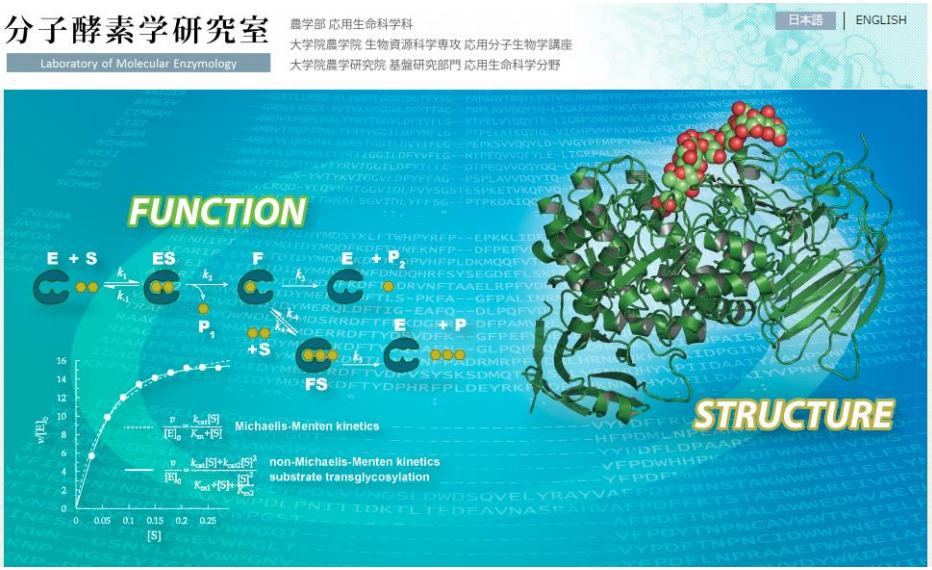
Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

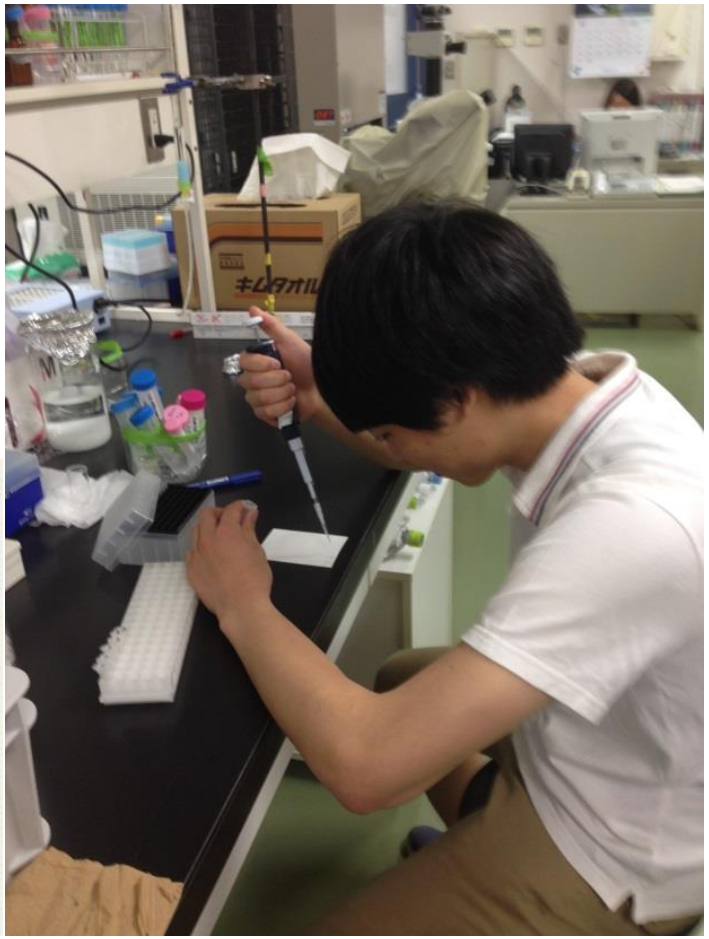
第二部「素人が見た生のアフリカ」

- アフリカ, セネガル
- ＯＤＡや国際協力
- 私が行く前と後でどう変化したか

私のバックグラウンド

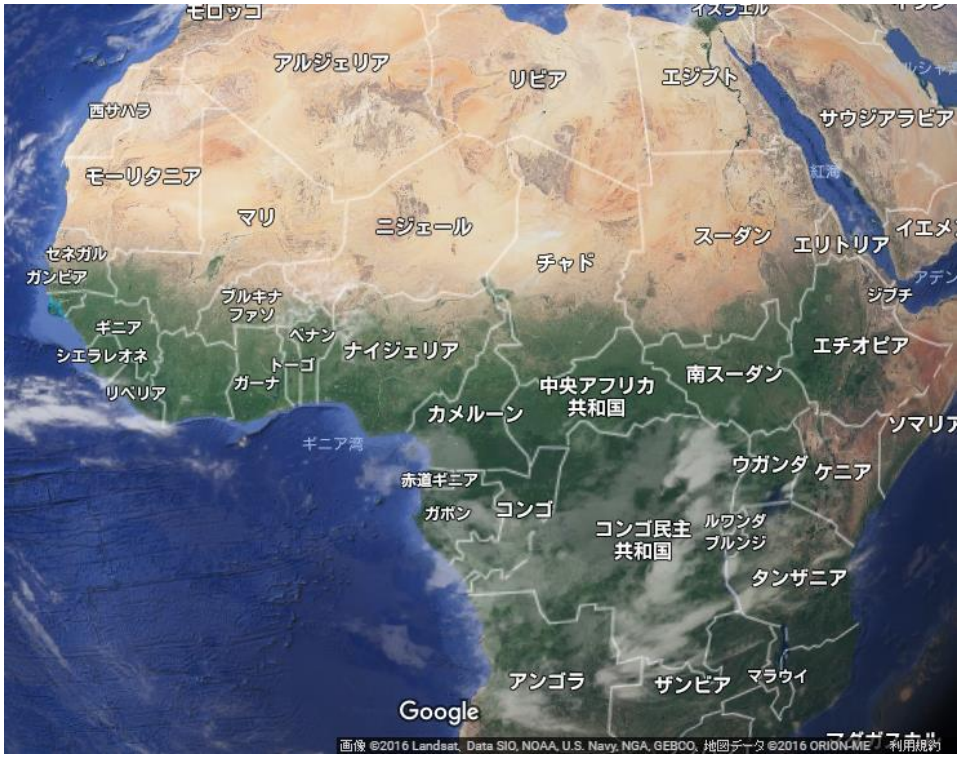
- 国際協力？素人。
- 典型的な理系大学院生
- 国内志向
- 初海外





セネガルって、どこ？

- 人口:1500万人
- 首都ダカール
- 公用語フランス語
- 95%イスラム教
- パリダカ



なぜ、セネガルへ。ODAとは？

・期間　10/22-30
・目的
「ＯＤＡの民間モニター。自分の目で海外の国際協力の現場を直接視察し、その様子を報告する事業」

カオラック州

首都ダカール

■天水稲作持続的生産支援プロジェクト

●米料理

●稲作を行う中核農家

●砂が舞うような土地で, 品種を比較, 農家と協力し合って, 収量が2倍.

タイバ・ンジャイ給水塔

●給水塔：周囲に地下水を供給
●これら設備を管理する組合は
　ボランティア.
●やらされてる感のないオーナーシップ
●民間委託への移行

●セネガル日本職業訓練センター
●周辺の国から留学生

印象的だった、いろいろ

- 人間的お産
- 「お金さえあればセネガルの建築業者だけでの施設の建築が可能だ」

印象的だった、いろいろ

- 歌で歯磨きや手洗いを習慣づけ
- 同級生の活躍
- 伝統の継承

日本よりもコメの消費量多い

- 60kg/日本人
- 100kg/セネガル人

セネガルから帰国して

- 長期間滞在したい
- それぞれの立場で貢献
- 研究の立場から国際協力

第二部のまとめ

- アフリカやセネガルの興味は？
  →衣食住には困らないというか同じ。
  　他のアフリカの国々にも行きたい。

- ＯＤＡや国際協力？
  →建物を建てて終わりではなく、他のドナーと協力して、
  　持続可能にしていく。二国間では終わらない。
  　切り替わりのところが課題。

- 素人が行く前と後でどう変化したか
  →前：日本にどう貢献するか、
  　　付加価値しかつけれない（研究でも）
  　後：国内にとらわれず、広く影響をもたらしたい。
  　　変えられるチャンスがある。